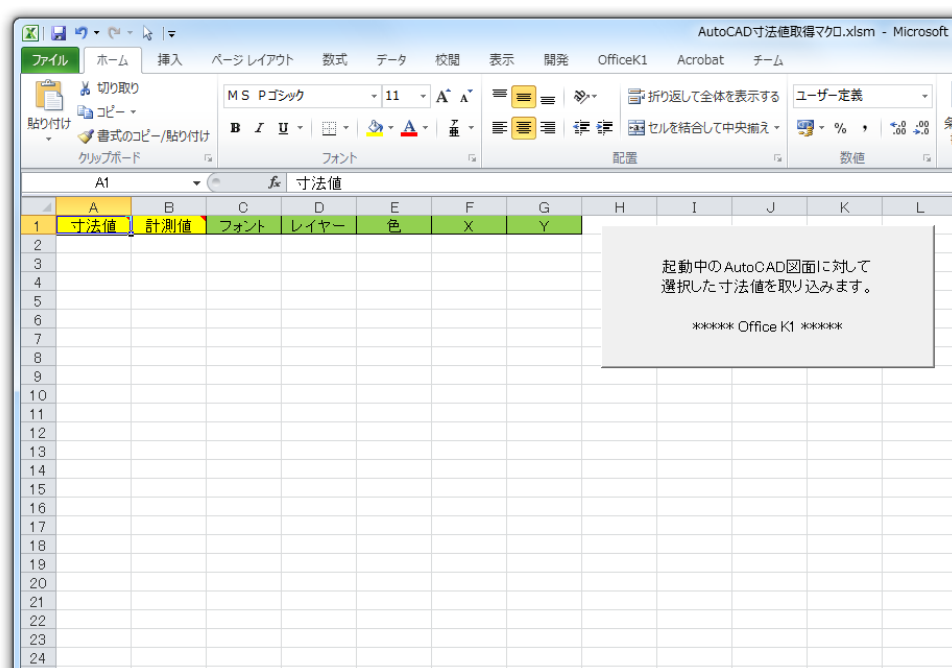


■ ■ ■ ■ ■ AutoCAD カスタムコマンド紹介 ■ ■ ■ ■ ■

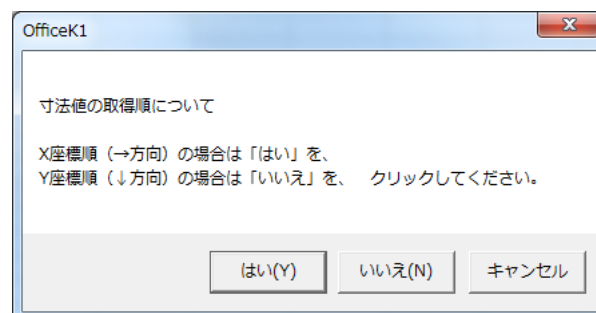
(その 6) 寸法値チェックコマンド

図面データの寸法オブジェクトに対して、表示寸法と実測寸法のチェックを行うコマンドです。図面の構造寸法と表示寸法値が違う箇所を探すときに使います。

(1) プログラム (Excel ファイル) を起動します。AutoCAD 図面が立ち上がっている状態を確認してから実行ボタンをクリックします。

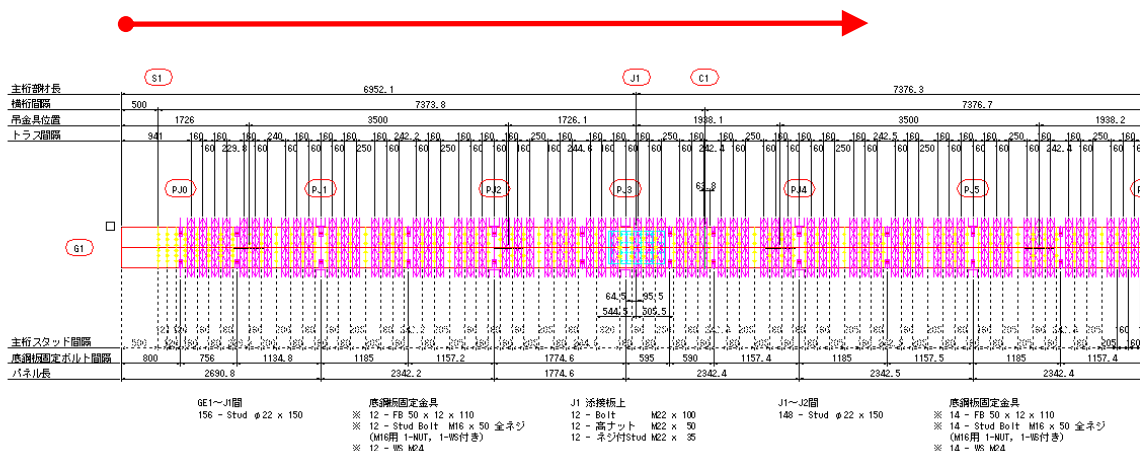


(2) X 座標方向か Y 座標方向のどちらかを選択します。



※X 座標順の場合は図面左から右方向に、Y 座標順の場合は図面上から下方向に順番に変換します。

(3) AutoCAD 画面に移ります。対象となる寸法オブジェクトを選択します。同じ並びの寸法線だけを選択すると Excel 側で確認するときにはわかりやすいです。



(4) 選択された寸法オブジェクトの属性が読み込まれます。A 列の「寸法値」が CAD 上で表示されている数値です。B 列の「計測値」は実際の距離を示します。

